

えりも中高一貫教育 えりも中学生百人浜に学ぶ

えりも中高一貫教育の総合的な学習は、えりも緑化事業の歴史と環境問題など地域の特性を理解し、中学で植樹、高校で育樹作業するなど林業体験による森林づくりに貢献し、平成18年度より毎年えりも地区で実施され、今年度の中学生の部については6月10日及び17日に行われました。

10日は、えりも緑化事業開始から事業に関わっていた飯田さんと当署治山事業所治山技術官から、60年前の緑化事業当初の強風や砂による環境の中での苦労の積み重ねと、その上で導き出した手法について話され、生徒たちは自然環境と森林のつながりについて熱心にメモを取りながら学んでいました。

17日は、各自カミネッコンを作り、ネームプレートをつけ、「早く大きくなってほしい」「今度見に来るのが楽しみ」などの希望を持って、丁寧に百人浜にミズナラを植樹していました。

周辺では、ちょうどクロマツ花粉の飛散時期でもあり、海風で時折花粉が多く飛ぶのに驚きながら、北海道では珍しいクロマツの生態を観察していました。

木を植えることの大変さや、その成長を育むための作業の大切さ、一本一本の木からなる森林が人々の生活に与える役割などを学ぶ良い機会となったと思います。



ミズナラ植樹～早く大きくなれ～



講演会～聞き入っていました～